

ふくしま共創のまちづくり計画

吉井田地区（素案）

地域ビジョン

子どもから高齢者まで、すべての住民がこころ豊かな生活の実現を目指せるまちづくりビジョン

- ・誰にでもやさしいふれあいのあるまち
- ・安全で安心して暮らせる快適なまち
- ・美しい景観の中でみんなが集うまち



このロゴマークは、吉井田地区の象徴である清流荒川のほか、桜や人のつながりをイメージし、令和6年度に福島西高等学校の生徒がデザインしました。

地域の個性

【位置】

JR福島駅の西側及び本市を代表する一級河川荒川の南側に位置し、国道115号が東西に、国道13号福島西道路と都市計画道路方木田茶屋下線が南北を貫く、生活利便性の高い地区です。

【公共施設】

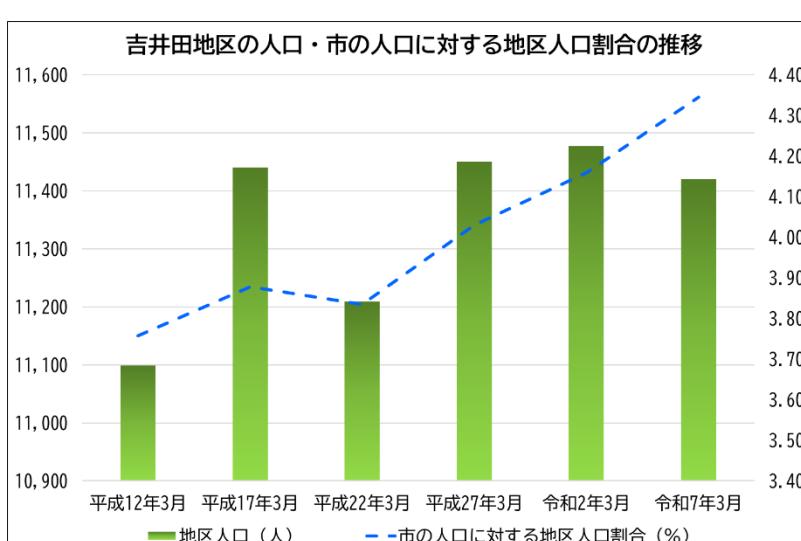
市民スポーツの拠点である国体記念体育館やあらかわクリーンセンター、リサイクルプラザ、わいわい市民農園、あらかわみのり公園、老人福祉センターなどが整備されています。

【産業】

旧国道115号（市道南町・佐倉下線）沿いは、福島運輸支局をはじめ自動車整備工場、自動車販売店など本地区の発展を支える自動車産業系施設が集まっており、地区の幹線道路沿いには大型商業施設が立地しています。また、地区の西部には果樹園が広がり、桃やリンゴなどが生産されています。

【自然環境】

清流荒川沿いには、河川公園が整備されています。また、地区の西部は市街化調整区域の田園地帯となっており豊かな自然に恵まれ、吾妻連峰を背景に四季折々の景観を楽しめます。



吉井田地区の基礎データ（R7.9末現在）

| 項目 | 吉井田地区 | 市全体 |
|--------|----------------------|-----------------------|
| 面積 | 4.52km ² | 767.72km ² |
| 人口 (人) | 11,493 (市全体の4.4%) | 262,122 |
| 15歳未満 | 1,519 13.2% | 29,778 11.4% |
| 15~64歳 | 6,815 59.3% | 148,788 56.8% |
| 65歳以上 | 3,159 27.5% | 83,556 31.9% |
| 世帯数 | 5,449世帯 | 125,001世帯 |

地域の取り組みの実績

- ・吉井田児童サポート隊 吉井田小学校と連携し、登下校時の子ども達の安全を支えました。
- ・吉井田地区青少年健全育成推進会 吉井田小学校、岳陽中学校と連携し、児童生徒の健全な成長を見守りました。
- ・吉井田交通安全母の会 吉井田きりんさんクラブで未就学児に交通安全教育を行いました。
- ・吉井田まみい広場 こんにちは赤ちゃん応援隊などが育児相談、子ども同士のふれあいに努め、自由な居場所を提供し、お母さん同士の交流をはかりました。
- ・ふれあいサロン 各地区で実施し、高齢者を招き、気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流しました。
- ・交通対策協議会吉井田支部 交通安全の啓発活動で、死亡事故ゼロ500日を達成しました。
- ・花いっぱい運動 国体記念体育館前にビオラを植栽し、地区内の美観形成に努めました。
- ・荒川桜づつみ酒造り協議会 遊休農地で酒米をつくり、荒川の伏流水で清酒を醸造し、市内外に清流荒川をPRしました。また、かかしづくりや、田植え、稻刈り体験を通じて、地域に子ども参加の場をつくり、住民間交流の機会を作りました。
- ・吉井田地区地域防災力強化事業 吉井田地区防災マップ、吉井田地区防災計画を作成しました。
- ・吉井田地区まちづくり計画推進懇談会 荒川桜づつみ河川公園において地区の名所や特徴、健康をテーマにオリエンテーリングを実施しました。

地域の強みとなる資源

（1）15年連続水質「日本一」の清流荒川

国土交通省の河川水質調査で「水質が最も良好な河川」と評価され、15年連続受賞しました。

（2）荒川桜づつみ河川公園

清流荒川に隣接する公園で、約220本の桜並木があり、春には桜、夏には木陰、秋には河原でバーベキューなど、多くの人々の憩いの場となっています。

（3）国体記念体育館

ふくしま国体の開催を記念して建てられた施設で、メインアリーナ、サブアリーナ、軽スポーツ室、トレーニング室を備え、市内スポーツの中核施設として多くの市民が利用しています。

（4）生活に直結する施設の立地

大型スーパー、衣料スーパー、ホームセンター、病院、福祉関連施設など、生活に直結する施設が多数立地しています。

地域課題

- 地域の活性化と次世代を担う人材の育成
- 地域の「宝」の子ども達の健全育成
- 水害に備える防災対策と安全なまちづくり
- 誰もが安心して暮らせるまちづくり
- 地域の伝統・文化の継承と発展
- 荒川桜づつみ河川公園と清流荒川の保全

重点的な取り組み

I 地域の活性化と、次世代を担う人材を育成しよう

- 【方 針1】 地域の各種団体の活動を活発にし、地域の活性化を推進します。
(継続) 町内会や地域全体の課題を共有化し、それぞれの組織の活性化に必要な対策を検討します。
(継続) 各種団体やボランティア団体との情報交換を行い、連携をはかります。
(継続) 運動会や文化祭など、多くの住民が参加できる各種行事を開催し、地域を盛り上げます。
- 【方 針2】 次世代を担う人材の育成をはかります。
(継続) 地域の行事や組織を通じて、地域に貢献できるかくれた人材の発掘と育成に努めます。
(新規) 勤労・子育て世代が参加しやすい取り組みを検討、実施します。

II 子どもは地域の「宝」 皆で守り育てよう

- 【方 針1】 家庭・学校・地域が連携して、「子ども達」を地域ではぐくんでいきます。
(拡充) 吉井田児童サポート隊員等を確保し、子ども達の見守り活動を続けます。
(継続) 吉井田地区青少年健全育成推進会を中心に、地域で「あいさつ運動」を継続します。
(継続) 吉井田交通安全母の会による「吉井田きりんさんクラブ」で、幼児に交通安全を教え、交通事故防止を進めます。
(継続) 吉井田まみい広場等による育児相談やお母さん達の交流の場を通じ、子育てを支援します。
(拡充) 吉井田学習センターが行う「ヨッシーキッズ」や「防災キャンプ」に加え、よしいだキッチン等の子ども食堂の活動を支援します。
(継続) 町内会や少年会育成会が連携して夏祭りなどを企画し、子ども達が集える場所をつくります。
(継続) 吉井田小学校マーチングバンド部や地域の学童クラブなど、子ども達の活動を応援します。

III 水害に備える防災・減災対策等を進め、安全なまちをつくろう

- 【方 針1】 吉井田地区防災計画を基に、水害に備え防災・減災対策に取り組みます。
(継続) 各町内会の自主防災組織を再点検し、水害に備える防災対策を検討します。
(新規) 水害時の避難所の運営方法を検討します。
(継続) 水害を想定した地区防災訓練を重ね、それぞれの役割分担の明確化をはかります。
(新規) 吉井田小学校以外の避難所や避難場所などの確認、周知に努めます。
- 【方 針2】 安全なまちづくりを進めます。
(継続) 町内会、小学校PTA、吉井田地区青少年健全育成推進会、吉井田交通安全母の会が連携し、地域の危険箇所点検を行い、地域安全マップ（危険箇所マップ）を更新し、住民に周知します。
(継続) 空き家の把握に努め、防犯・防火対策を進めます。

IV 住み慣れたまちで、誰もが安心して暮らせるまちをつくろう

- 【方 針1】 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「みんなで支え合う」まちをつくります。
(継続) 町内会と民生児童委員、地域包括支援センターなどが連携し、様々な生活課題を抱える世帯を把握します。
(継続) 地域のふれあいサロンや茶の間など集う場所をつくり、高齢者の元気を応援します。
(継続) ふくこぶし吉井田（吉井田地区老人クラブ連合会）の活動を支援し、高齢者の交流の機会を増やします。
(継続) 花いっぱい運動など、まちの美観を形成する活動を続けます。
(継続) 地域包括支援センターと連携し、住み慣れたまちで自分らしい暮らしを続けることの出来る福祉のまちづくりを進めます。
(継続) ごみ出しルールを周知し、集積されたごみの飛散防止やカラス対策を進め、ごみ集積所の美化を進めます。
(新規) 健康増進の事業・活動により、地区の生活習慣病予防の取り組みを進めます。

V 地域の伝統・文化を守り育てよう

- 【方 針1】 地域の伝統行事や文化を守り育て、次世代に継承します。
(継続) 地域の夏祭りや盆踊り、神社のお祭りなど、地域の伝統を伝えます。
(継続) 仁井田稚児舞や仁井田鼓笛会、方木田稻荷太鼓、吉倉八幡太鼓を応援し、伝統文化を守ります。
(継続) 八幡神社の三面彫刻や稻荷塚古墳など、地域の文化財を大切に守り次世代に伝えます。

VI 荒川桜づつみ河川公園で自然に親しみ、清流荒川を守ろう

- 【方 針1】 荒川桜づつみ河川公園などで自然に親しみ、清流荒川を守る活動を進めます。
(継続) 町内会、住民有志、地元企業などで、荒川桜づつみ河川公園や河川の清掃活動を続けます。
(拡充) 荒川の自然環境の保全やPR活動等を行なう、「ふるさとの川・荒川づくり協議会」「荒川桜づつみ酒造り協議会」を応援します。



【吾妻連峰を背に花満開の荒川桜づつみ河川公園】